

千葉県歯科医学会令和5年度学術大会
教育講演

東京歯科大学
学長 一戸達也

知っておきたいくすりの知識

本年5月19日付で、厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長から、小児に薬用ハミガキを使用した後にアナフィラキシー症状が発現した事例に関する周知依頼の文書が発出されました。数年前には福岡県で小児への局所麻酔薬投与後に局所麻酔薬中毒で死亡した症例が報告されています。歯科医師は日常臨床の中で、様々な薬物を患者に投与することから、常にこれらの薬物に対するアナフィラキシーや中毒、薬物相互作用の危険性と隣り合わせでの診療が求められます。したがって、これらの危険性を最小限にするために、どのような知識を持ち、どのような対策を講じておく必要があるのかについて、歯科医師は常に意識しておかなければなりません。本講演では、「知っておきたいくすりの知識」と題して、歯科医師が知っておきたい薬物に関する知識と関連情報の収集、全身合併症発生時の基本的な緊急対応についてお話します。

略歴

昭和56年 3月 東京歯科大学卒業
昭和60年 1月 東京大学医学部附属病院分院麻酔部医員（昭和60年12月まで）
昭和60年10月 東京歯科大学大学院修了（歯学博士）
昭和61年 1月 東京歯科大学講師
平成 3年 1月 東京歯科大学助教授
平成 4年10月 Harbor/UCLA Medical Center麻酔科客員研究員（平成6年3月まで）
平成14年 4月 東京歯科大学教授
平成22年 6月 東京歯科大学水道橋病院長（平成25年5月まで）
平成25年 6月 東京歯科大学副学長（令和4年5月まで）
平成28年 6月 東京歯科大学千葉病院長（現、千葉歯科医療センター長）
（令和4年5月まで）
令和 4年 6月 東京歯科大学学長

著書

歯科麻酔学 第8版 医歯薬出版
歯科におけるくすりの使い方2023-2026 デンタルダイヤモンド社